



令和6年8月26日

「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域の実現に向けた 観光課題対策事業について

「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域の実現のため、「**市民生活と観光振興の調和**」「**災害発生時における旅行者対応**」等の観点から、**観光課題への対応**を図ります。

1 実施概要

- ・旅行者に求める旅のスタイルの検討やマナー啓発、市民に対する観光振興による効果の分かりやすい発信など、市民生活との調和を図るための取り組み
- ・災害発生時の旅行者対応に関する方針案の作成や、体系的かつ効率的な情報発信の仕組みの検討など、喫緊の受入課題の解消
- ・旅行者アンケートの実施や、多様な関係者が観光課題を共有する会議の開催などを通じた対応策の検討

2 実施期間

令和6年10月下旬～令和7年2月

3 補正予算額

23,180千円

※観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」(先駆モデル型 補助率2/3)の採択を受けて実施

問 合 先	
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課
課長	山郷 三昭
係名	海外戦略係
係長	葛井 孝弘
連絡先	電話 (直通 0577-35-3346) (内線 2417)

1. 「持続可能な観光」の実現に向けた取り組みの方向性

市内事業者ヒアリング等より

【観光関連事業者・従事者】

- ・労働力不足や、原油高等による利益圧迫などにより、人数だけを追いつける施策への限界

【外国人旅行者】

- ・飲食店の供給力不足に伴う飲食難民の発生など、観光事業者の課題がそのまま旅行者の満足度に影響を与えている可能性

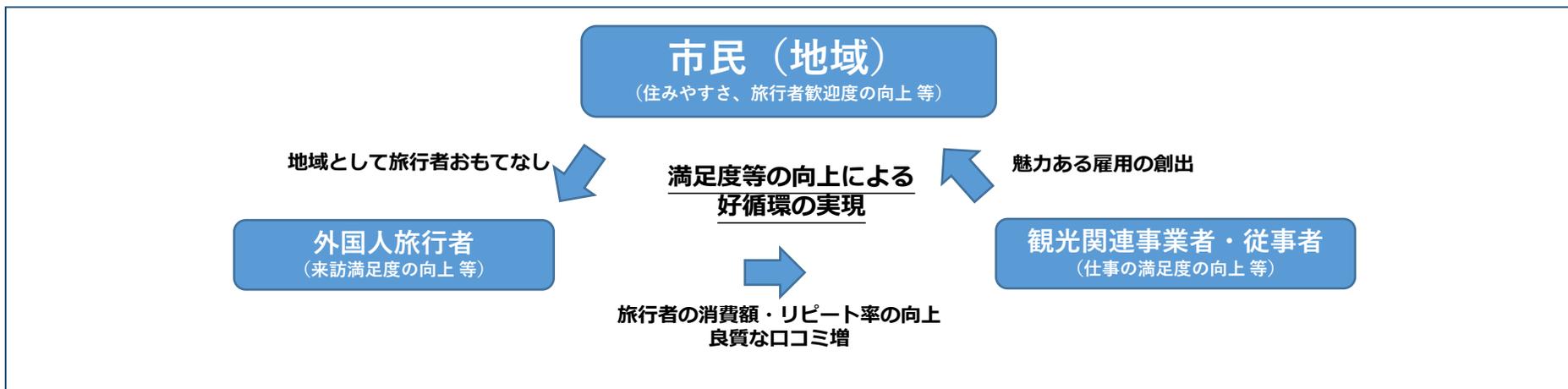
【市民（地域）】

- ・訪日市場の急激な回復に伴う旅行者のマナー問題や混雑など、地元住民の暮らしへの影響の懸念

取組の方向性

市民(地域)との調和や、観光関連事業者の事業継続性の確保、外国人旅行者の満足度との両立など、持続可能な観光の実現に向けた取り組みを進めていくことが必要

イメージ



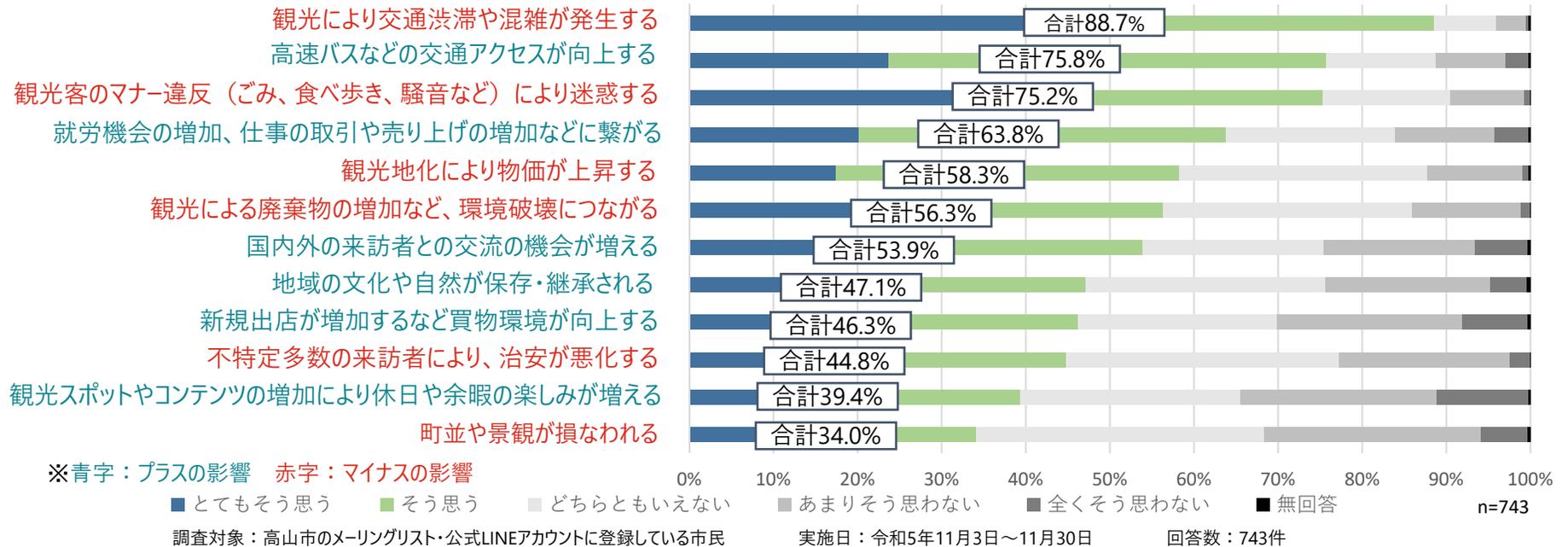
2. 「持続可能な観光」の実現に向けた令和5年度の主な取り組み

○観光庁 持続可能な観光推進モデル事業

(一社) 飛騨・高山観光コンベンション協会が、観光庁「持続可能な観光推進モデル事業」の採択を受け、高山市と連携のもと、市民を対象としたアンケート調査等を実施

(アンケート結果抜粋)

観光客が訪れることにより、あなたの生活環境にどのような影響があると感じていますか。(1つ選択)



○外国人旅行者向け動画制作

- ・市長からのウェルカム・メッセージや、観光資源の紹介に加え、伝統文化や美しい自然が、市民の努力によって維持されていることを紹介
- ・旅行者が安全・安心・快適に、かつ、市民に寄り添って過ごしていただくことを啓発
- ・令和6年1月より配信開始
- ・散策マップでの紹介や、まちなかのデジタルサイネージで放映



散策マップに
二次元バーコード
で紹介



3. 令和6年度「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域の実現に向けた観光課題対策事業 概要

観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」（先駆モデル型）活用事業

- 令和5年度に実施した市民アンケートにより、外国人旅行者の急回復に伴うマナー問題等の観光課題が明らかとなった
- 豪雨や地震等の災害が頻発する中、旅行者への情報発信等について、更なる対応の充実が必要となっている
- これらを踏まえ、本事業において観光に関する諸課題への対策を講じ、「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域の実現を目指す

【実施内容】

1. 「市民生活」と「観光振興」の調和を図るために必要となる施策の具体化と実行

- ①旅行者に提唱する旅行スタイル（TAKAYAMA STYLE(仮称)）の方針・具体案の作成
（白川郷線等のバス車内におけるマナー啓発動画の制作・放映等）
- ②混雑緩和を目的とした、支所地域の観光スポット及び二次交通情報の発信強化
（周遊バスの利用促進等）
- ③市民の方々に向けた観光による経済効果等の分かりやすい広報



(例)外国人旅行者の多いバス路線の車内ディスプレイにおけるマナー啓発動画の放送

2. 観光客のV字回復による喫緊の受入課題の解消

- ①既存の旅行者対応計画等の課題の整理・分析、見直し方針作成
- ②災害時の最適な情報発信の仕組みの検討
- ③体系的な情報伝達経路・発信手段（デジタルサイネージやWEB媒体）の確立
（高山駅周辺のデジタルサイネージ等を活用した情報発信の実証）



(実施イメージ) マナー啓発例 京都市「MIND YOUR MANNERS」



(実施イメージ) 市民対象 紹介事例 京都市「私たちの暮らしと京都観光」

3. 指標設定及び指標に基づいたマネジメントサイクルの構築

- ①マネジメント指標の設定
（例）市民の旅行者歓迎度、観光関連事業従事者の仕事の満足度 等
- ②指標の基となるデータ収集及び分析手法の検討
- ③「持続可能な観光推進会議」の開催
（参加者想定）観光関連団体、公共交通事業者等



JR高山駅周辺のデジタルサイネージやSNS等による多言語での情報発信に向けた整備を実施